(特非) ezorock

北の大地を学びのフィールドに ~サービスラーニングセンター北海道(仮) の設立事業

3年目

実 践

プログラム実施 **75回**活動市町村 **12地域**今年度計画の達成度 60%

目標達成度

70%



苦労した点と工夫した点

■苦労した点

青年層向けの募集広報、現場での安全管理、受入れ団体との事前・当日調整など。特に雨天時のプログラム変更には苦労した。

■工夫した点

参加者や受入れ団体スタッフと日常的なコミュニケーションを図ることで、相互にフィードバックを受け次のステップへプログラムを進められるようにしたこと。

理 題

- ●青年層が実践的な環境教育を学ぶ機会が限られている ●大学等高等教育機関は実践的学習に関心はあるが、懸念事項が多い
- ●環境NPOでは、担い手育成が難しい

目 標

●持続可能な開発のための知識・技能・価値観・態度を習得した ユースが増える ●環境NPOの次世代の育成につながる ●道内 の30%の大学等との接点が生まれる

活動内容と成果

青年層向けの座学の学びと実践の往復のプログラムを作成する。これを、教室で学んだ学問的な知識・技能を課題解決のための社会的活動にいかすための「サービスラーニング」という教育手法として表現し、「サービスラーニングセンター北海道(仮)」の設立を目指した。「北海道胆振東部地震」の影響を受け、プログラム回数など成果を出しきれない部分もあったが、国立公園での自然保護活動や子どもの自然体験イベントなどを題材にプログラムを作成した。連携した団体の多くは翌年度以降の継続を希望している。





全助成期間の活動を振り返って

3年間で、1,000人を超える若者が北海道各地の環境課題に直面する現場で活動した。また、短期間な参加ではなく、座学の学びと実践の往復を行う長期プログラムの作成で、より深い学びとつながりを得て、10人以上の若者が環境分野や地域での職業を選択した。現場実践型プログラムの実施とそれによる次世代の担い手育成は、大型災害や地域課題の増加する社会の中で、今後もより必要とされていくのではないかと考える。

|活動地域| 🛂 北海道

〒064-0809 北海道札幌市中央区南9条西3丁目1-7 電話: 011-562-0081

E-mail:info@ezorock.org https://www.ezorock.org/





今後の 展望 これまで以上に多くの都市部在住の若者が現場実践型プログラムに参加し、北海道各地の地域や課題とつながりを持ち、自分事として捉えられるようになることを目的として、本事業の継続的な運営を目指す。また、SDGsの考え方を基本に活動分野を拡大し、より多くの教育機関や地域NPOが連携できるプログラムを実施する。その結果、持続可能な地域づくりの担い手の活躍と、災害時にも連携できるネットワーク構築を目指す。